

# もみじ



県立広島病院 ☎ 082-254-1818 (代)  
〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

## 連携医院のご紹介



白尾院長

### しらお小児科・アレルギー科クリニック

〒734-0023  
広島市南区東雲本町2-6-32  
電話 / 082-281-3578  
院長 / 白尾 謙一郎  
診療科目 / 小児科、アレルギー科



しらお小児科・アレルギー科クリニック外観



しらお小児科・アレルギー科クリニックのマスコット

しろくまサン

**○いつ開業されましたか。**  
平成26年5月1日です。有田昌彦先生のありた小児科・アレルギー科クリニックを継承しました。以前、広島大学大学院に在学中、小児科アレルギー外来を担当しておりました。そのときに、有田先生が代表幹事を務めておられた広島小児アレルギー研究会から世話人になってもらいたいとの話があり、ご縁をいただきました。お付き合いいただき中で、クリニックの継承のお話をいただき、お受けすることとなりました。

**○開業されてから今までのことを教えてください。**  
継承でしたので、以前からの患者さんもおられましたし、スキルのあるスタッフもいて、とても恵まれていたと思います。ただ、自分のスタイルに持っていくのに少し時間は必要でした。継承した後から電子カルテシステムや予約システムの導入など始めました。今は、種々のシステムの変更も含め、自分の方針を取り込んで、診療を行っています。

**○力を入れている事などを教えてください。**  
アレルギーはトータルで診ないといけないと思っています。点ではなく、線や面で診ることが必要です。例えば咳だけを診るのではなく、全体を見てどういった治療をしていくのがよいかを考えていくことが大事です。また、アレルギーは慢性疾患なので、1回や2回の治療ではなく、継続的に診ることが重要です。そのため、お子さんやご家族が理解し、納得していただくことがとても必要です。当クリニックではご納得いただけるよう、説明などのお時間をしっかりとっていきます。

**○毎日の診療で大切にされていることや、やりがいは？**  
私は小児科医ですが、同時にアレルギー科医ですので、子どもさんだけでなく成人を診察することもあります。患者さんのご希望に沿う形で治療し、ご家族が安心できるよう治療をしていきたいです。来られた方に対して、できる限りのことをさせていただきたいと思います。そして、特に、子どもさんには診療後、ニコニコしながら帰ってほしいですね。また、今度もクリニックへ行きたいと楽しく思ってもらえるよう、いつも楽しい診察をしたいなと思っています。診察室は、リビングであり、幼稚園・保育園や学校でもあり、また心身を開放できる場所でもあります。リラックスして、来ていただきたいですね。

**○県病院はどんなところで、県病院に一言。**  
小児科、小児感覚器科、小児外科によく紹介します。小児外科の先生には特にお世話になっております。何があっても受け入れていただき、すぐ来てと言われるので、とても助かっています。受付の方の対応もしっかりとされ、安心してできます。



ジオラマのある待合室

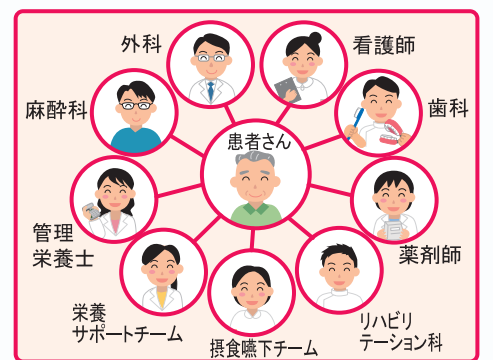
**【取材後記】**  
待合室には大きな模型が展示され、たくさんの電車、広島駅周辺の建物、宮島の鳥居などもあり、お子さんだけでなく、ご家族も楽しめる空間でした。院長先生はとてもやさしく、にこやかに、話題が豊富でした。ご家族全員が安心できるクリニックだと感じました。

## 紹介します！ 周術期管理センター

イ ー ラ ス (周術期管理法)				
外科	術前	手術	術後	退院後
麻酔科	● 栄養評価・指導 ● 呼吸訓練 ● 口腔ケア ● 手術の説明	● 麻酔	● 栄養管理・指導 ● 疼痛管理 ● 離床・歩行・筋力増強 ● 口腔ケア	● 栄養評価・指導
看護師				
栄養士				
薬剤師				
歯科				
リハビリ				

**◆周術期の医療について**  
現在、我が国の人口高齢化は急速に進行し、心臓・腎臓・糖尿病などの慢性疾患や、体力の低下した（フレイル）患者さんは年々増加しています。体力や栄養が低下した患者さんに手術を行うと、術後合併症が増加することは周知の事実です。術後合併症は患者さんと病院スタッフ双方に身体的・精神的負担を強い、医療費も増加するため、さまざまな予防策が考案・実施されてきました。体力の落ちた患者さんに術前から栄養強化を行うことにより、肺炎や膿瘍などの術後合併症は減少します。新しい麻酔法や手術法が開発され、以前より安全で高度な手術を実施することが可能となりました。薬剤の進歩により、術後の痛みは軽くなっています。術後早期から適切に服薬、食事、運動することで胃腸機能と体力回復が促進されることもわかってきました。

**◆手術前、手術中、手術後全てにチームで関わり早期退院!!**  
患者さんが病院を受診して、手術の準備を行い、手術を受けて、元気に退院するまで、多くの医療スタッフが陰になり日向になり患者さんをサポートしています。これまで、①入院生活の説明と不安解消、体調・栄養管理、リスクの早期発見と対応などの術前準備や、②術中管理（麻酔・手術）、③術後の痛み管理、リハビリテーションや栄養管理は各部署のスタッフが個別に対応していました。近年、これらの業務を多職種が連携してチーム医療として行う取り組みが「周術期管理」と称され、多くの急性期病院で組織的に運用されています。この「周術期管理センター」スタッフがチームで外科治療に取り組むことにより、手術リスクと術後合併症を減少させて、患者さんの満足度を上げて、業務効率化をはかり、より早く回復して社会復帰できることが報告されています。当院は令和4年4月から「周術期管理センター」を立ち上げ運用します。外科系診療科、麻酔科、外来・手術・病棟看護部、歯科、栄養管理科、薬剤科、リハビリテーション科、栄養サポートチームなどが一丸となって、患者さんが安心・安全に手術を受けて早く社会復帰できるようにサポートいたします。どうぞよろしくお願いいたします。



## 県立広島病院からのお知らせ

**がん医療従事者研修会**

開催日時 令和4年3月8日(火) 19:00~20:30  
開催方法 Web開催 (Zoom)  
テーマ 『薬薬連係の最前線』  
対象 医療従事者及びその関係者  
演者 薬剤科 窪田悠希 主任ほか  
問合せ先 総務課管理係/石岡  
Tel.082-254-1818 (内線/4271)

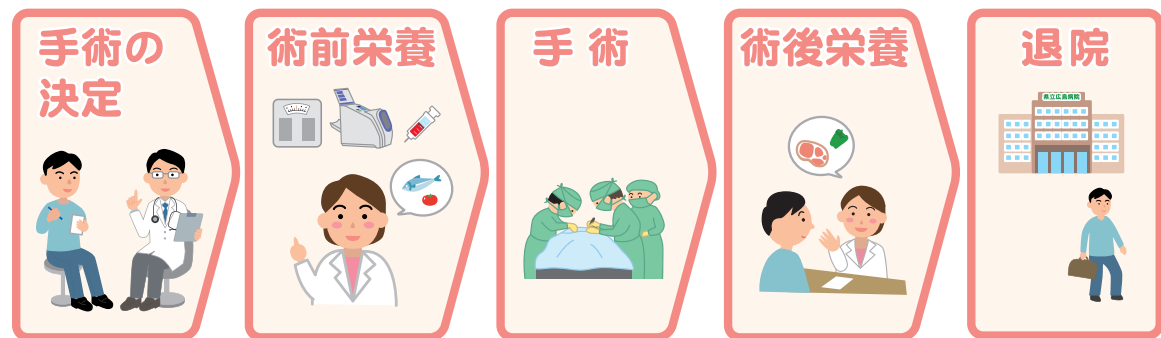
**児童虐待防止に関する研修会**

開催日時 令和4年3月10日(木) 17:30~19:30  
開催方法 Web開催 (Zoom)  
テーマ 『AHTの基礎知識と医療機関における対応』  
対象 医療従事者及びその関係者  
講師 大阪急性期・総合医療センター 丸山 朋子 先生  
問合せ先 総務課管理係/小西  
Tel.082-254-1818 (内線/4272)

◆周術期管理センターでの管理栄養士の役割



手術前から栄養をしっかり摂ることは、術後の合併症を予防し、創の治りや体力の回復を早め、予後を良好にすることに繋がります。「周術期管理センター」では、手術が決定すると、現在の患者さんの体格、体重の変化、食欲の有無、食べている食量、血液検査値などから栄養状態を評価します。栄養不良リスクがある患者さんに対しては、術前約2週間の栄養強化治療を行います。



周術期管理センターには、手術の約2週間前にお越しいただきます。管理栄養士は、すべての患者さんに、日頃の食習慣や、食物アレルギーの状況をお聞きし、入院後の食事内容を決定し、食物アレルギーの患者さんへは入院後安心して食事を摂っていただけるよう対応します。

術前栄養強化が必要な患者さんには、栄養指導を行います。栄養指導では、身体計測(身長、体重)、筋肉量、体脂肪率、浮腫(むくみ)、握力を測定します。また、食事内容から摂取栄養量を計算し、栄養素の過不足を判定します。短期間で栄養強化を達成するためには、栄養バランスを整えることや、エネルギーとたんぱく質を十分に摂ることが必要です。入院前の在宅栄養強化のために、現在の栄養状態を具体的にお伝えし、何を摂ればよいか、食事の見直しなどのアドバイスをいたします。

当院では、術前栄養強化の一つとして、免疫を増強する栄養素が強化された栄養剤を術前数日間飲用する免疫栄養療法を行っています。免疫栄養療法は、術後合併症の減少や入院日数の短縮という結果が報告され、消化器がん手術などに対する栄養療法として推奨されています。

管理栄養士は、患者さんが適切な栄養管理を受けることにより、術後早期に口からしっかり食べられるようになって短期間で回復・退院できるよう、チームの一員として栄養面からサポートいたします。

どうぞ  
よろしくお願  
いたします!!

栄養バランスの良い食事

主食 主菜 野菜 の 3点セットを組み合わせましょう!

**主食** 炭水化物  
●エネルギー源になる  
ご飯 パン 麺類

**主菜** たんぱく質  
●筋肉の材料になる  
肉 魚 豆腐 卵

**野菜** ビタミン・ミネラル・食物繊維  
●体の調子を整える  
野菜 きのこと 海藻



栄養管理科スタッフ

—寝つき—

この原稿を書いている今、北京オリンピックの真っ最中です。期待通りに金メダルを取った人、期待されながらも取れなかった人と悲喜こもごものドラマを見ながら、複雑な気持ちです。あたかも100%金メダルが取れるという過剰な期待を背負って戦う選手たちが可哀そうでなりません、逆に期待が大きい程、その期待に応えて、結果が出た選手は喜びも一層大きいのでしょう。私のような凡人でもなんとなく分かるような気がしますが、普通はその前に重圧で押しつぶされてしまいます。

オリンピックのような大きな舞台を前にして、選手たちの心理状態はどのようなものなのでしょう?もちろん、感じ方や反応には個人差があり、期待の大きさによっても異なるかもしれませんが、オリンピックだけでなく、人生の分岐点となる大勝負の前に「昨夜はよく眠れました」とインタビューで答えている選手に、私はいつも驚かされています。ふつうは緊張して眠れないですよね。考えれば考えるほど興奮して眠れなくなるはず。睡眠薬を飲むわけにもいかないのによく眠れるなあと感心するわけです。逆に、優勝あるいは金メダルを取ってうれしさのあまり興奮して眠れなかったという話は良く聞きますが、大勝負の前日の方が眠れないのが普通ではないかと思うのは私だけなのでしょうか?

実は、私は寝つきが良いことには自信があります。もちろん今まで睡眠薬のお世話になったこともあります。これまでの人生で2度、朝まで眠れなかった経験があります。いずれも大学受験のときです。最初は、高校三年生の時の大学受験で、受験の前夜、同じ下宿先の一浪の先輩から「今夜は興奮して眠れそうにないから近くにある屋台にちょっと一杯引っかけに行こう!」と誘われました。もう時効です。まあ、もちろん断ればよかったのですが、なぜか「それは良いで

すね!」ととんでもない提案に乗ってしまい、飲みすぎたわけではないけれど気分が悪くなり朝まで眠れず、当たり前ですが試験も散々の出来でした。当時はセンター試験がなく、記述問題だけの一発勝負でしたが、国立大学は1期校と2期校に分けられ、受験のチャンスは2回ありました。シラフで臨んだ2期校も不合格だったので、落ちたのは酒のせいではなく実力がなかっただけのようです。そして浪人してリベンジで臨んだ翌年の試験前夜、とにかくまた落ちたらどうしようかという不安で眠れない夜を下宿で悶々と過ごし、一睡もできなかったことを覚えています。もちろん羊の数も相当数えました。幸いなことに、試験中のほとんど頭が冴えていましたが、数学の試験の時に、突如眠気が襲ってきて、10分くらい意識が消失していました。意識消失時間がもう10分長ければ試験に落ちていたかもしれません。

試験終了10分前に短い眠りから覚めた私は、書いた答案を眺めていて衝撃の事実に愕然としました。問題が6問あったのですが、第5問と第6問の記述問題の回答を、反対に書いていたのです。すなわち、第5問の回答を第6問の回答欄に、第6問の回答を第5問の回答欄に。数学の記述式の回答なので、答えを全部消して書き直すのにちょうど10分かかりました。手が震えましたが、何とか危機を脱出しました。

幸いその時以来、不眠で悩んだことはありません。ちょっと眠れないなと思ったら楽しいことを思い浮かべるか、逆に何も考えずに頭の中を真っ白にすればすぐに眠れることに気づきました。これは私独特の方法かもしれませんが、したがつて人に薦めたことはありません。ただ、寝つきは相変わらずいいのですが、最近夜中にトイレで目が覚める加齢現象に悩まされています。



院長/板本 敏行

病院ボランティアを募集しています!!

当院では、外来ボランティアとして活動していただける方を募集しています。貴方の優しさを届けてみませんか。

- 活動時間/平日 (9:30~12:00) 都合のよい曜日
- 外来ホールを中心とした活動
  - ・診察手続きの説明や補助
  - ・来院者への院内の案内、誘導
  - ・来院、帰宅時の介助、荷物運びなど

お問い合わせ

地域連携室  
☎ 082-256-3562

